

令和 6 年度

社会福祉法人 大治町社会福祉協議会

事業報告書

目次

◎ 総括	1 頁
重点取組の実績と課題	
○ 各事業の実績と課題	2 頁
・ 総務部	2 頁
・ 地域福祉部	3 頁
・ 児童福祉部	8 頁
・ 障害福祉部	10 頁
・ 福祉サービス利用支援部	11 頁
・ 介護福祉部	11 頁

事業報告書の見方

1. 報告書の構成

報告書は総括、重点取組と新規事業における取組実績と課題、各事業の実績(課題)に分けて構成している。

2. 実績と課題

各事業における実績及び課題として、事業毎の報告や実績、成果に加えて課題や今後のあり方等の方向性を明記している。

3. 収入の状態

事業の実施状況を客観的に把握するため、年度毎に実績と当初予算額や決算額、収入の状態を表している。特に独自事業は、実績や経営状況の把握と事業の方向性を示す根拠として収入の状態を明記している。

総 括

令和6年度は、物価の上昇等、不安定な社会情勢の影響から地域福祉事業の生活福祉資金貸付事業は昨年度より件数も多く、クローバー基金支援事業では、昨年度の1.5倍もの新規貸付件数となりました。また、子育て世帯の生活環境への影響も続いていることから、ひとり親世帯を対象に年末フードパントリー事業を実施し、40世帯ほどに食糧支援を行うことができました。

児童福祉事業については、子育て交流の場、小学生の帰宅後の遊び、交流の場として、利用者に満足していただけるよう努め、順調に利用者数を増やすことができました。

介護保険事業（訪問介護事業、通所介護事業、居宅介護支援事業）では、慢性的な人材不足により新規利用者の受け入れも難しく、経営に関しても大変厳しい状態が続いているため、次年度より通所介護事業の土曜日営業を中止し、経営改善を図るよう方針を決めました。

重点取組の実績と課題

1. 災害への体制整備

大規模災害を想定した災害ボランティアセンター設置訓練を大治町役場の関係課、自主防災組織、災害ボランティアコーディネーターと実施し、一連の流れを実際に体験し、問題点の話し合いを行った。

業務継続計画（BCP）の更新に向けて、協議検討を行った。

2. 大治町総合福祉センター「希望の家」指定管理運営事業更新に向けて

指定管理者としての5年間（令和2年度から令和6年度）の報告をするとともに、次期5年間（令和7年度から令和11年度）の指定管理者指定に向けて、必要書類の作成、大治町とのヒアリングを行い、引き続き町より受託することができた。

総合福祉センターも築25年以上経過しており、経年劣化等による修繕箇所も多く、限られた予算の範囲内で計画的な修繕を行う必要がある。また、住民が安心・安全に利用できる施設運営に向けて、協議検討が必要である。

3. おおはる成年後見支援センターの評価と改善

令和4年度と比べ相談件数は着実に増えてきており、広報活動によりセンターの認知度は向上している。

課題としては、増えた相談案件について、どのように優先順位をつけて対応して行くか。それについては、町や支援検討委員と協議し、後見申立ての必要性・緊急性も含めて対応していく。

令和6年度より海部圏域でも県の市民後見人等養成研修が実施されており、大治町でも研修修了者の活動の場を作ることを目指す。また、法人後見の実施、持続可能な権利擁護支援モデル事業の実施について可否を検討していく。

4. 介護保険各事業の連携強化

各介護保険事業は、非常に厳しい経営状態が続いており、居宅介護事業所には、訪問介護事業所や通所介護事業所をPRしてもらう、また通所介護事業では、令和7年度より利用者の少ない土曜日の営業を中止するなど、介護支援事業所や訪問介護事業所と連携を図り、利用者へのサービス提供が低下しないよう努めた。

5. 職員の処遇改善

社会保険の適用範囲拡大に伴い、対象者への説明会・同意書の提出をもって、任意特定適用事業所として届出を行い、非常勤職員の働き方の選択肢を広くすることに努めた。

各事業の実績と課題

◎ 総務部

①法人運営事業（独自事業・補助事業）

理事会4回、評議員会3回を開催した。今後も諸規程の見直しや必要に応じた改正等を行い更なる組織機能の充実を図っていく。

②会員入会促進事業（独自事業）

5・6月を会員入会強調月間として各種団体の総会や町内の企業等に会員募集を行い、財源確保と理念の周知を図ったが、会員総数は減少しており、今後の課題である。

実績／年度	3年度	4年度	5年度	6年度
個人会員総数	867口	839口	718口	718口
法人会員総数	39口	41口	48口	56口
当初予算額	1,567,000円	1,563,000円	1,248,000円	1,190,000円
決算額	1,257,000円	1,249,000円	1,198,000円	1,278,000円

③実習受入事業（独自事業）

令和6年度は受け入れ実績なし。

④総合福祉センター「希望の家」指定管理運営事業（受託事業）

コロナウイルス感染症拡大防止対策を継続しながら、住民の方が安心・安全にご利用できるよう管理運営に務め、利用者は増加している。

実績／年度	3年度	4年度	5年度	6年度
開設日数	229日	291日	290日	291日
利用人数	15,784人	23,020人	28,251人	31,893人

⑤広報調査研究事業（独自事業）

「タウン大治」を作成し、年4回（4月、7月、10月、1月）発行した。また、誌面広告を募集掲載し財源の確保に努めた。社会福祉協議会の行う事業をメインに発信している。今後、調査研究機能をどのように活用し、情報発信を実施していくか検討する。

◎ 地域福祉部

①敬老会事業（補助事業）

令和6年9月14日（土）に町と共催し75歳以上の高齢者の長寿を祝うために「敬老会」を開催した。招待者約4,700人に対し、当日の来場者数は157人と少なく、今後の式典のあり方を検討していく必要がある。

実績／年度	3年度	4年度	5年度	6年度
来場者数	—	—	150人	157人
当初予算額	1,686,000円	1,711,000円	1,724,000円	1,804,000円
決算額	47,940円	10,284円	820,471円	1,402,308円

②福祉講演会事業（独自事業）

令和7年1月11日（土）に13時30分から15時30分まで、スーパーヒューマンしおり氏をお招きし、「大治と楽しくあゆむ」という題目でご講演いただいた。今後も聴講者の動向を踏まえ、講演会の形式などを検討する。

実績／年度	3年度	4年度	5年度	6年度
参加者数	0人	76人	159人	250人
当初予算額	283,000円	284,000円	384,000円	285,000円
決算額	44,808円	17,067円	709,698円	271,349円

③福祉まつり事業（独自事業）

職員の事務負担が多く、財源的にも厳しいため、福祉まつり事業は廃止した。

実績／年度	3年度	4年度	5年度	6年度
参加者数	—	—	—	—
当初予算額	2,284,000円	2,284,000円	0円	0円
決算額	4,032円	2,940円	0円	0円

④福祉団体等助成事業（独自事業）

各種団体をはじめ、保育園助成事業において助成を行った。団体支援財源は共同募金と社協会費を充当しており、財源の確保や助成効果・成果の評価、団体支援の在り方を検討する。

実績／年度		3年度	4年度	5年度	6年度
遺族会		273,641円	270,000円	270,000円	220,000円
子ども会連絡協議会		0円	0円	0円	0円
老人クラブ連合会		26,000円	26,000円	26,000円	26,000円
障害者福祉協会		250,000円	180,000円	230,000円	230,000円
障害児（者）を持つ親の会		100,000円	100,000円	150,000円	150,000円
保育園助成事業	大治保育園	43,560円	0円	0円	0円
	大治東保育園	50,000円	50,000円	50,000円	50,000円
	大治南保育園	40,180円	43,481円	43,890円	42,130円
	大治はなつね保育園	50,000円	50,000円	50,000円	50,000円
高齢者スポーツ大会助成事業		80,000円	80,000円	80,000円	80,000円
合計		913,381円	799,481円	899,890円	848,130円

⑤食の自立支援事業（受託事業）【一部業務を事業者へ委託】

高齢者世帯等を対象に業者による見守りを兼ねての配食サービスを行った。昨年に比べ登録者が9名から19名に増えたため、配食数・決算額ともに増加した。

実績／年度	3年度	4年度	5年度	6年度
配食数	1,394食	1,798食	1,078食	1,594食
当初予算額	1,647,000円	474,000円	484,000円	372,000円
決算額	480,793円	326,280円	166,980円	274,868円

⑥ひとり暮らし老人交流会事業（受託事業）

原則、毎月第4水曜日に開催し、町内男性1人、女性26人の登録があり（令和7年3月31日現在）、ボランティアによるレクリエーション等を企画し互いに交流した。また3月には、お弁当の会食を実施した。

実績／年度	3年度	4年度	5年度	6年度
開催日数	10日	11日	12日	12日
参加者数	118人	128人	144人	154人
当初予算額	615,000円	655,000円	682,000円	626,000円
決算額	138,890円	175,734円	176,122円	241,823円

⑦ボランティアセンター運営事業（独自事業・補助事業）

住民の方からボランティア活動に関する相談を受け、登録や活動の斡旋・紹介を行った。また、災害ボランティアセンター備品・備蓄を整備し、職員研修を実施した。

実績／年度	3年度	4年度	5年度	6年度
ボランティア数	1,017人	1,015人	1,001人	1,011人
当初予算額	646,000円	522,000円	485,000円	519,000円
決算額	484,142円	399,426円	459,901円	471,289円

⑧福祉協力校事業（独自事業）

町内の小学校3校、中学校1校を福祉協力校として委嘱し、福祉実践教室等での講師派遣や紹介、共同募金への協力依頼等を行った。今後、児童・生徒がより福祉に関心を持てるようなカリキュラムを各学校及び派遣講師と検討する。

実績／年度		3年度	4年度	5年度	6年度
参加児童数	大治中学校	336人	326人	359人	340人
	大治小学校	157人	160人	163人	147人
	大治西小学校	101人	104人	103人	91人
	大治南小学校	96人	106人	113人	100人
当初予算額		285,000円	379,000円	377,000円	269,000円
決算額		266,740円	313,902円	290,000円	229,958円

⑨講座開催事業（補助事業）

聴覚障害者への理解を深め、地域共生社会と社会的障壁除去に資することを目的に手話奉仕員養成講座をあま市社会福祉協議会と共催にて年40回開催した。

実績／年度	3年度	4年度	5年度	6年度
参加人数	—	25人	20人	20人
当初予算額	37,000円	385,000円	380,000円	428,000円
決算額	11,630円	365,853円	360,456円	384,736円

⑩ボランティアグループ支援事業（独自事業）

ボランティア団体の活動を支援するため、申請のあった17団体へ運営費10,000円を助成し、また、事業費として申請があり審査の通った5団体に30,000円を1団体に10,000円を補助した。

実績／年度	3年度	4年度	5年度	6年度
ゆめあゆみ	80,000円	80,000円	50,000円	50,000円
かたつむり	0円	0円	0円	0円
運営費助成金	—	—	70,000円	170,000円
事業費補助金	—	—	180,000円	160,000円
合計	80,000円	80,000円	300,000円	380,000円

⑪地域福祉サービスセンター事業（補助事業）

福祉サービスを受けることができるよう相談支援事業を実施した。

⑫募金推進協力事業（独自事業）

大治町共同募金委員会として、「共同募金・歳末たすけあい募金」運動に協力し、赤い羽根協賛児童生徒作品コンクールの作品の取りまとめや募金目標額の設定、関係資材の配付等を行った。

実績／年度	3年度	4年度	5年度	6年度
一般共同募金	1,516,914円	1,507,265円	1,457,978円	1,607,715円
歳末助け合い募金	799,497円	740,564円	754,123円	723,781円
合計	2,316,411円	2,247,829円	2,212,101円	2,331,496円

⑬歳末たすけあい事業（独自事業）

12月23日（月）に、ひとり親世帯44世帯を対象にお米や食料品、衛生用品などを配布した。なお町内企業や住民の方から寄付をいただき、ともに配布した。

⑭成年後見支援センター（受託事業）

認知症、知的障がい、精神障がいなどにより判断能力が十分でない方であっても権利が尊重・擁護され、地域で安心して暮らせるようにするため、成年後見制度等の円滑な利用に向けて支援を行った。令和6年度はチーム会議を7回、支援検討委員会を6回、運営委員会を2回実施した。11月の研修会は、あま在宅介護相談センター：松浦和紀氏、きよくろケアプラン：山田好美氏のお二人をお招きし、現役の専門職後見人として、実際に行っている後見業務についてお話をいただいた。

12月の講演会は、NPO法人尾張東部権利擁護支援センターあすライツセンター長の住田敦子氏をお招きし、成年後見制度について、利用の際のメリットだけでなく、デメリットについてもわかりやすく解説していただいた。

相談類型/年度	3年度	4年度	5年度	6年度
認知症	—	5件	5件	7件
知的障害		6件	6件	1件
精神障害		7件	7件	5件
その他		3件	3件	4件
当初予算額		12,502,000円	12,848,000円	13,397,000円
決算額		8,845,450円	11,129,704円	13,327,750円

⑮日常生活自立支援事業（受託事業・補助事業）

認知症、知的障がい、精神障がい等により判断能力が十分でない方に対し、住み慣れた地域で生活ができるよう福祉サービス利用の援助や金銭等の管理の支援に努めた。令和6年度中は1名が利用中止となり、5名が新規利用開始となった。令和7年度も3、4名程の新規利用者が見込まれるため、生活支援員を増員する等の支援体制の充実が課題である。

実績/年度	3年度	4年度	5年度	6年度
契約件数	9件	12件	14件	18件
当初予算額	620,000円	798,000円	790,000円	1,319,000円
決算額	412,850円	282,942円	550,787円	1,129,477円

⑯心配ごと相談所（独自事業）

令和元年度から定例相談を廃止、常時相談とした。

無料法律相談は毎月第3火曜日の午後2時から4時まで開設し、弁護士が法的解決に向け助言を行った。（担当弁護士：萱垣建弁護士、萱垣祐樹弁護士）

司法書士による相続登記・成年後見等相談を愛知県司法書士会と共同開催し、年6回奇数月第2火曜日の午後2時から4時まで行った。

令和6年度は令和5年度に比べてほぼ同数だった。民生委員、児童委員、海部福祉相談センター等、必要な機関に繋げた。

実績／年度		3年度	4年度	5年度	6年度
常時相談 ※令和元年度～ 「定例相談」→ 「常時相談」	取扱実件数	32件	21件	16件	16件
	取扱延件数	44件	21件	16件	16件
	相談実人数	17人	21人	16人	16人
	相談員延人員	37人	21人	19人	19人
無料法律相談	開催日数	6日	7日	12日	12日
	取扱実件数	24件	26件	47件	48件
	取扱延件数	24件	26件	47件	48件
	相談実人数	19人	26人	47人	48人
	相談員延人員	12人	12人	24人	24人
司法書士相談	開催日数	6日	6日	6日	6日
	取扱実件数	19件	22件	18件	23件
	取扱延件数	19件	22件	18件	23件
	相談実人数	22人	22人	18人	23人
	相談員延人員	6人	6人	6人	6人
取扱延件数合計		87件	69件	81件	90件
当初予算額		222,000円	238,000円	401,501円	399,433円
決算額		196,778円	232,412円	401,501円	399,433円

⑰生活福祉資金貸付事業（受託事業）

コロナ特例貸付は令和4年9月末で終了した。通常の生活福祉資金貸付についてはこれまで通り実施した。

実績／年度	3年度	4年度	5年度	6年度
生活福祉資金貸付事業				
新規貸付件数	3件	6件	7件	9件
貸付件数	17件	23件	30件	39件
貸付合計額	6,374,017円	6,236,939円	7,978,939円	11,342,229円
延滞利子	2,145,542円	2,211,183円	2,464,754円	3,374,855円
償還済額	1,676,005円	1,766,410円	2,224,766円	2,745,004円
償還残額	6,843,554円	6,681,712円	5,602,317円	5,138,220円
コロナ特例貸付				
新規貸付件数	465件	69件	0件	0件
貸付合計額	199,200,000円	24,050,000円	0円	0円

⑱クローバー基金支援事業（独自事業）

令和4年度より昨今の生活困窮者に即応性のある支援を行うため、町くらし資金に代わり、新たな貸付事業としてクローバー基金支援事業を実施した。クローバ基金支援事業の延滞利子は3%とし、町くらし資金の貸付利用者に対しても令和4年4月1日から適用とする。令和6年度の新規貸し付けは24件。滞納者については、督促状の送付や電話連絡など継続して償還指導を行った。

実績／年度	3年度	4年度	5年度	6年度
町くらし／クローバー	町くらし資金	クローバー基金支援事業	クローバー基金支援事業	クローバー基金支援事業
新規貸付件数	0件	15件	15件	24件
貸付件数	3件	18件	33件	57件
貸付合計額	300,000円	424,000円	312,000円	796,300円
延滞利子	178,005円	179,520円	184,608円	191,254円
償還済額	131,000円	233,000円	204,000円	316,000円
償還残額	347,000円	349,000円	279,000円	497,300円

⑨生活援助事業（独自事業）

生活困窮者からの食料支援の希望を踏まえ、タウン大治や民生委員協議会、関係機関等に食料寄付をお願いし、多くの方から現物の寄付をいただくことができた。母子世帯、高齢者世帯等の生活困窮者へ食料支援を行った。また、福祉事務所や大治町役場民生課とも連携し、必要に応じて生活保護支給までのつなぎとしても食料支援を行った。

実績／年度	3年度	4年度	5年度	6年度
生活困窮者食料支援事業				
支援件数	124件	127件	115件	116件
寄付件数	125件	66件	51件	80件
食糧購入額	54,716円	58,004円	41,410円	42,018円
行路病者貸付事業				
貸付件数	0件	※	※	※
貸付残額	0円			

※令和4年度からはクローバー基金貸付事業に含む

◎ 児童福祉部

①児童センター事業（受託事業）

利用人数は増加し、土曜日工作や夏休み事業等の利用人数も増加傾向にある。

実績／年度	3年度	4年度	5年度	6年度
延べ人数	453人	7,373人	12,232人	16,125人
当初予算額	8,588,000円	8,181,000円	7,108,000円	7,634,000円
決算額	6,951,752円	6,626,181円	5,454,305円	1,804,362円

②地域子育て支援拠点事業「はるっこ」（受託事業）

延べ利用人数は減少したが、なかよし広場絵本の読み聞かせ等の参加人数は増加した。

実績／年度	3年度	4年度	5年度	6年度
延べ人数	2,194人	4,968人	6,111人	4,771人
当初予算額	11,737,000円	7,982,000円	8,180,000円	9,339,000円
決算額	10,334,917円	7,164,034円	7,690,938円	8,825,818円

③子ども子育て支援拠点施設「はるっ子ハウス」（受託事業）

乳幼児とその保護者を中心とした施設だが、下校後の小学生の利用も多く、異年齢の交流が頻繁にみられた。

実績／年度	3年度	4年度	5年度	6年度
延べ人数	—	1,407人	6,679人	7,512人
当初予算額		4,704,000円	7,729,000円	7,971,000円
決算額		3,529,696円	6,645,897円	6,985,000円

④放課後児童健全育成事業（受託事業）

各小学校区において、小学校1年生から6年生までの児童を対象に健全育成を行った。集団生活になじみにくい児童への個別支援を行うなど指導の充実を図り、円滑な運営に努めた。

実績／年度	3年度	4年度	5年度	6年度
東部児童クラブ				
登録児童数	936人	1,113人	1,122人	1,292人
延出席児童数	13,343人	14,733人	15,671人	15,671人
開設日数	291日	288日	285日	291日
当初予算額	15,571,000円	20,569,000円	20,860,000円	23,414,000円
決算額	11,859,537円	18,721,053円	20,312,792円	22,935,316円
西部児童クラブ				
登録児童数	664人	733人	796人	792人
延出席児童数	9,238人	10,569人	11,542人	17,860人
開設日数	291日	288日	285日	291日
当初予算額	11,748,000円	18,562,000円	19,567,000円	21,029,000円
決算額	9,183,341円	15,219,031円	18,761,179円	19,950,340円
南部児童クラブ				
登録児童数	805人	911人	804人	671人
延出席児童数	11,240人	12,813人	10,193人	10,380人
開設日数	291日	288日	285日	291日
当初予算額	38,466,000円	19,961,000円	19,879,000円	21,515,000円
決算額	34,177,139円	16,418,024円	17,196,670円	19,694,242円

⑤親子通園療育事業「かがやき園」（受託事業）

小学校に入学するまでの、心身の発達の遅れまたはそのおそれのある児童とその保護者を対象に、母子関係の形成や生活習慣の獲得などを目的に週3回実施した。

実績／年度	3年度	4年度	5年度	6年度
延利用人数	633人	710人	703人	703人
延開所日数	131日	138日	134日	134日
当初予算額	4,922,000円	5,593,000円	8,656,000円	7,468,000円
決算額	4,489,872円	4,712,171円	4,669,472円	6,583,552円

◎ 障害福祉部

①福祉作業所「さつきの家」（独自事業）

B型就労継続支援事業においては、施設内作業として、リサイクル事業の拡充を目指し設備投資を行った。また、施設外就労にも力を入れ、利用者が地域の一員として活動できる機会をたくさん持てるように務めた。

生活介護事業においては、毎日作業とレクリエーションを取り入れ、サービスの向上に努めた。レクリエーションは、外出の機会を作り、室内ではストレッチやトレーニングなどの運動を取り入れ、利用者の健康管理にも努めた。

実績／年度	3年度	4年度	5年度	6年度
B型就労支援事業	定員11名	定員11名	定員11名	定員11名
延利用人数	2,053人	1,937人	2,118人	1,963人
延開所日数	240日	238日	239日	239日
稼働率※1	77.8%	74.0%	80.6%	74.7%
当初予算額	16,480,000円	17,981,000円	18,348,000円	25,315,000円
決算額	13,038,751円	14,659,675円	14,944,107円	15,082,767円

※1 稼働率＝延利用件数÷延開所日数÷定員数×100（小数点以下四捨五入）

実績／年度	3年度	4年度	5年度	6年度
生活介護事業	定員9名	定員9名	定員9名	定員9名
延利用人数	1,337人	1,462人	1,209人	1,003人
延開所日数	239日	238日	239日	239日
稼働率※1	62.2%	68.3%	56.2%	46.6%
当初予算額	12,060,000円	12,985,000円	14,745,000円	15,746,000円
決算額	9,872,847円	10,261,275円	10,451,382円	13,321,717円

※1 稼働率＝延利用件数÷延開所日数÷定員数×100（小数点以下四捨五入）

②「おおはる」指定障害相談支援事業所（受託事業）

社会福祉協議会の役割として、サービス利用者以外の相談も積極的に受け、重層的かつ複合的な相談に対して、内部事業との連携、協働してケース対応にあたった。大治町内に新規の相談支援事業所が2事業所指定を受けたため、それらの相談支援事業所や既存の相談支援事業所へ適切な支援が行われるよう助言など行い、相談支援体制の向上に努めた。

また、あま市・大治町障がい者支援協議会、あま市・大治町子ども・若者支援地域協議会、自殺対策推進委員会等に参画し、地域福祉推進を進めた。

実績／年度	3年度	4年度	5年度	6年度
相談実人数	191人	216人	220人	228人
相談件数	2,832件	3,279件	2,655件	2,708件
最終予算額	22,549,000円	24,568,000円	41,584,000円	35,456,000円
決算額	21,327,334円	23,246,834円	22,606,200円	30,689,221円

◎ 福祉サービス利用支援部

地域包括支援センター事業【公益事業】（受託事業）

地域住民や病院等の関係機関からの様々な相談に対応し、適切な支援を実施した。地域包括ケアシステム構築推進のため、地域ケア会議や生活支援体制整備推進協議会等を開催した。認知症に関する基礎知識・理解をさらに深め、より実際の支援活動に繋げることを目的に、認知症サポーター養成講座研修修了者を対象に認知症サポーターステップアップ研修を開催した。今後も地域住民や行政、関係機関と連携し、地域包括ケアシステムの実現に向けて取り組む。

実績／年度	3年度	4年度	5年度	6年度
総合相談件数	2,351件	2,915件	3,152件	3,997件
当初予算額	26,921,000円	28,167,000円	28,349,000円	35,359,304円
決算額	25,930,943円	27,167,733円	27,767,627円	31,297,948円

◎ 介護福祉部

①「おおはる」指定居宅介護支援事業所（独自事業）

要介護認定者に対しケアマネジメントを実施し、また、地域包括支援センターから要支援者のマネジメントを受託した。

実績／年度	3年度	4年度	5年度	6年度
給付管理件数	1498件	1,437件	1,545件	1,442件
当初予算額	19,200,000円	17,160,000円	16,980,000円	17,409,000円
収入の状態	15,917,524円	15,405,842円	16,531,989円	15,184,248円

②ホームヘルパーステーション「おおはる」事業（独自事業・受託事業）

介護保険の利用件数は増加したが、総合事業、生活援助の増加で、身体援助は減少したため収入も減少した。障害は利用回数は増加したが、こちらも生活援助が増加、身体介護が減少したため収入が減少した。令和6年度より、産後ホームヘルパー、養育支援事業が終了し、子育て世帯訪問支援事業が新設されたが利用者は無しであった。

実績／年度	3年度	4年度	5年度	6年度
介護保険事業				
延利用件数	437件	441件	485件	504件
延訪問回数	6,277回	5,604回	5,420回	4,769回
延訪問時間数	6,031時間	5,746時間	5,089時間	4,144時間
当初予算額	22,370,000円	21,837,000円	19,734,000円	20,503,000円
収入の状態	20,234,849円	18,418,140円	17,113,231円	12,816,547円
障害関係事業				
延利用件数	105件	144件	137件	128件
延訪問回数	710回	799回	894回	1,010回
延訪問時間数	1,030時間	1,245時間	1,345時間	1,397時間
当初予算額	3,413,000円	3,955,000円	3,896,000円	4,816,000円
収入の状態	3,040,612円	3,896,258円	4,254,958円	4,058,644円

実績／年度	3年度	4年度	5年度	6年度
入所者等が一時帰宅に対する者へのヘルプサービス事業				
延利用件数	1件	—	—	—
延訪問回数	1回	—	—	—
延訪問時間数	1時間	—	—	—
当初予算額	0円	—	—	—
収入の状態	2,000円	—	—	—
産後ホームヘルパー派遣事業				
延利用件数	1件	—	—	—
延訪問回数	2回	—	—	—
延訪問時間数	3時間	—	—	—
当初予算額	0円	—	—	—
収入の状態	6,990円	—	—	—
養育支援訪問事業				
延利用件数	—	—	—	—
延訪問回数	—	—	—	—
延訪問時間数	—	—	—	—
当初予算額	—	—	—	—
収入の状態	—	—	—	—

③大治町老人デイサービスセンター事業（独自事業・受託事業）

介護保険事業は利用件数が昨年度より増加しているが、総合事業の利用件数が減少しているため、全体としては昨年度と同等の収入状態となった。今後も居宅介護支援事業所等への営業活動により利用者を増やし、安定的な経営を目指す。

実績／年度	3年度	4年度	5年度	6年度
介護保険事業(定員30名)		(定員18名)	(定員18名)	(定員18名)
延利用件数	2,400件	1,904件	1,905件	2,016件
延開所日数	293日	293日	293日	292日
稼働率 ※1	27%	36%	36%	38%
当初予算額 ※2	24,533,000円	28,895,000円	26,813,000円	22,260,000円
収入の状態	21,172,097円	18,455,627円	17,098,771円	18,248,546円
総合事業(定員各10名)				
延利用件数	355件	388件	528件	344件
延開所日数	293日	293日	293日	292日
稼働率	—	—	—	—
当初予算額	—	—	—	—
収入の状態	2,077,996円	2,065,042円	3,048,149円	1,933,325円
身体障害者デイサービス事業				
延利用件数	121件	9件	0件	0件
延開所日数	293日	293日	293日	292日
稼働率	—	—	—	—
当初予算額	107,000円	107,000円	110,000円	122,000円
収入の状態	36,300円	2,700円	0円	0円

※1 稼働率＝延利用件数÷延開所日数÷定員数×100（小数点以下四捨五入）

※2 当初予算額については、介護保険事業収入のみ記載

※3 総合事業の国保連収入、公費収入、食費収入を含む（科目がないため）

※4 総合事業の自己負担分